

スキークラブニュース

2016年 7月号

今回は「クラブ活動協力調査票」と「ハガキ」を同封しています。

ハガキにて「夏のイベント・懇親会の出欠」および「クラブ活動への協力可能番号」をお知らせください。

I 第32回 クラブ総会開催報告

30周年という節目の年を成功裡に終え、“全員参加のクラブ運営の推進”を確認しました。総会議案書、一般活動報告書及び総会議事録をもとに以下に報告します。

【日時】 2016年5月15日(日) 14時00分から16時30分

【会場】 神奈川県ライトセンター 第一講習室

【参加者】 出席26名 委任状27名 計63名

会員総数89名 会則12条より半数以上出席で総会成立。

議長：I.K. 書記：T.M.

【議題】

1、 第一号議案：2015年度一般活動報告 決算報告

《一般活動報告》

1. 2015年度定期総会・並びに懇親会の開催

○総会

日時 2015年5月17日(日) 14:00~17:00

会場；神奈川県ライトセンター、

出席；36 委任状；31 会員数；97 総会成立

○懇親会；団欒 炎(二俣川) 参加者17名

2. 役員会の開催

①7/5 ②9/5 ③10/31 ④12/6 ⑤1/11 ⑥3/21 ⑦4/9 全7回開催

①②③④⑦は会場ライトセンター、⑤⑥は会場県民センター、①③⑦は午前中に「クラブニュース発送」
延べ参加者は72名

<報告詳細(一般活動報告書より)>

役員会は年間計画に基づいて7回開催し、監査役、スキーツアー実行委員会の代表者、30周年記念事業実行委員会の代表者(役員兼務)にも参加いただき、情報共有を図りました。また、本年は30周年記念事業が加わりその進捗状況等の報告事案も多かったため、開催にあたっては事前に報告・検討事案を決め、効率的運営を図り、且つ議論を深めることに努めました。以下に本年度の懸案事項について報告します。(詳細は議事録参照)

●未納者対策

逼迫するクラブ会計のなかで本年は30周年を迎えて記念事業を行うこととなったが、その対策として年会費を2014年度と2015年度の二年間のみ2000円から4000円としクラブ運営を行ってきた。その年会費変更にあたっては、これまでも徴収が困難だった2013年度以前の未納分者分については再請求を行わず、2014年度より会計をリセットしてスタートさせた。それら経緯を踏まえ、2014、2015年度の会費未納者に対し、どの年度から納入を促すかを議論した。その結果「2014年度、2015年度の会費未納者に対し、それぞれの年度の全額を徴収する」との結論に至った。未納者へはクラブニュース4月号送付に合わせ請求書

(5/30 納付期限) を郵送した。

●会計健全化

クラブ会計は年会費納入実績が会員の 60%程度に低下するなか、支出の大半を占める交通費などの固定費に変化がないため予備費への依存が増え、余剰金も減少傾向にある。健全化への対策が急務となっており、イベントやツアーの費用回収法、交通費支出の低減策などを議論した。しかし、具体的な対策実施には至らず 2016 年度への継続事案とした。2016 年度への引継にあたっては役員数減とサポーター体制を提案します。

●新規入会希望者の枠組み／基準

枠組みとして下記事項を基準に進めることとしました。

- ・ ブラインドの新規入会は“クラブ説明会の参加”と“役員会の承認”を必須とする。
- ・ 役員会承認にあたってはブラインド、晴眼者ともに生活年齢を考慮した判断を行う。
- ・ 新規入会者の当該年度のスキーツアー参加も考慮し、説明会と役員会承認はスキーツアー申込×切前に行う。
- ・ 晴眼者については上記の限りではないが、クラブ説明会参加を促す。
- ・ 秋のイベント以降の新規入会者は入会年度の“次の年度”から会費を納入する。

●役員業務の負荷分散

30 周年事業の実施年でもあり業務負荷が懸念されたため、年度初に役員会業務を洗い出し、担当業務を明確にしてスタートしました。しかし、役割の兼務、個々人の日常業務の多忙さなどもあり、コミュニケーション不足は否めませんでした。今後はクラブ創設期に立ち返り、全会員が会の運営に参加出来る(する)組織にする必要があります。会の仕組みから見直し、検討していくことが求められます。

●世代交代

これまで、ブラインド・晴眼者ともに新規入会者が少ない状況もあり、クラブ会員の高齢化が急速に進んできました。しかし、ここ数年、中間年代層の会員の活躍は著しく世代交代の好機と捉え、役員交代期の 2016 年度を機に、世代交代の第一歩を踏み出します。

●その他

今年度、役員会にスキーツアー実行委員会の代表者に参加してもらいました。参加メンバーからは「役員会の話し合いは時間が長い」「ツアー関連のピンポイント情報を話してもらえの方が分かりやすい」「役員会議事録等がどの程度読まれているか疑問である」「誰に届ける情報なのか明確にするようにメーリングリストの宛先などの確認が必要である」等の感想・意見をいただきました。当初の狙いであった実行委員会と役員会の情報共有については、次年度以降も改善していく必要があります。

3. 夏季イベント「楽しく歩いてトレーニング」開催

開催日 2015 年 6 月 6 日(土) 9:30~15:00

場 所 よこはま動物園ズーラシア

参加者 ブラインド 8 名 大人 15 名 小中学生 10 名 計 33 名

4. シーズンイン研修会「座談会」と忘年会

開催日 2015 年 12 月 6 日(日) 14:00~17:00

会 場 ライトセンター 第 1 講習室

参加者 ブラインド 10 名、晴眼 10 名 計 20 名

終了後忘年会 団欒 炎 14 名参加

5. 岩原研修スキーツアーの試行

開催日 2016 年 1 月 15~17 日(金土日)

会 場 岩原高原スキー場

参加者 ブラインド 3 名 晴眼 6 名

岩原スキー場で、パートナー研修ツアーを実施しました。

6. 岩鞍スキーツアー

開催日 2016年1月30日～2月1日(土日)

会場 ホワイトワールド岩鞍

参加者 ブラインド16名 晴眼24名 小学生3名 合計43名

7. 体力アップ教室

毎月第2日曜日 10時から12時 年間計画として設定

現在、晴眼のクラブ員は視覚障害会員の介助者として2名まで施設の同時利用が可能

8. 「クラブニュース」の発行

2015年度は7月、11月、16年4月に3回発行しました。

9. 新規会員募集

ブラインドスキーサミット2015 やシーズンイン研修会の新聞取材もあり12名が説明会を受け10名の方が新規登録の意思表示をしています。

10. 他団体への協力

2016年2月13・14日にJRPSユース部会企画実施のスキーへクラブ会員14名が協力しました。

《一般活動 決算報告》

	費目	予算	実績	差異(△:減)	備考
収入	繰入金-①	¥45,398	¥45,398	0	
	年会費	¥120,000	¥154,000	34,000	①
	雑収入	¥0	¥66,971	66,971	②
	小計	¥165,398	¥266,369	100,971	
支出	通信費	¥30,000	¥7,260	△ 22,740	葉書、切手代
	事務費	¥9,000	¥6,949	△ 2,051	封筒、点字印刷費等
	交通費-A	¥85,000	¥75,500	△ 9,500	役員交通費
	交通費-B	¥24,000	¥24,000	0	実行員会交通費
	広報費	¥10,000	¥10,000	0	HP費用
	その他	¥7,398	¥4,080	△ 3,318	県民センターレンタル料等
	小計	¥165,398	¥127,789	△ 37,609	
総合計				138,580	
	① 15年度 74名:¥148,000、14年度 3名分:¥6,000				
	② 預金利息	寄付など			

《質疑応答》

第一号議案について

Q: 岩原研修スキーツアーの試行とあるが、どのような成果があったのか?

A: 岩原スキー場でパートナー研修ツアーを実施しました。第一日目の午前は見学、午後は実習、夜はグラスを傾けながらの座学。受講生には、パートナーとして注意すべき、滑走前、滑走中、滑走後の事項について具体的に学んでいただきました。二日目は、受講生、講師、ブラインドが3名1組で、前日の研修内容の復習として自由滑走を行いました。

経験豊富な会員のノウハウを伝授できた。

Q: 通信費の差異の理由は何か?

A: メールが増えて郵送が減った。在庫の切手、封筒を使用した。

2、 第二号議案：30周年記念事業報告 決算報告

《事業報告》

1. 30周年記念行事 「サロン」

第1部「ブラインドスキーサミット2015」

日 時： 2015年10月3日(土) 13:00～16:00

場 所： 二俣川 ライトセンター 第一講習室A・B・C

参加者： 総計59名

[B:20名、S:39名(うち、外部団体 B:7名、S:6名)]

*他に神奈川新聞、毎日新聞(点字毎日)の報道取材 2名

第2部「懇親会」

日 時： 2015年10月3日(土) 18:00～20:30

場 所： 桜木町 横浜市社会福祉センター H×3(エイチ バイ スリー)

参加者： 総計60名

[現・旧会員及び家族 B:22名、S:38名(内外部団体 B:3名、S:4名)]

2. 30周年記念「きずな30」

クラブ創立30周年を記念し、10周年に制作した「声のきずな」を引き継ぐものとして、会員は元より多くの人にクラブを知っていただくために、ホームページをリニューアルしました。

3. 30周年記念 北海道スキーツアー

日 時：2016年2月27日～29日(土日月)

会 場：北海道余市郡キロロリゾート

参加者：B12名 晴眼17名 計29名

《30周年事業 決算報告》

	費目	予算	実績	差異(△:減)	備考
収入	繰越金-②	¥7,096	¥7,096	0	
	寄付金	¥300,000	¥310,000	10,000	FreeWill、三ツ星山の会
	年会費	¥120,000	¥154,000	34,000	
	小計	¥427,096	¥471,096	44,000	
支出	きずな30	¥100,000	¥48,834	△ 51,166	
	サロン	¥200,000	¥187,184	△ 12,816	
	スキー	¥100,000	¥87,894	△ 12,106	
	その他	¥27,096	¥0	△ 27,096	
	小計	¥427,096	¥323,912	△ 103,184	
総合計				147,184	

《予備費会計 決算報告》

一般活動会計	¥138,580
30周年記念事業会計	¥147,184
2015年度活動予備費	¥226,000
繰越金	¥511,764

《質疑応答》

第二号議案について

Q:30周年記念行事、参加団体名の記載が無い。どこの団体か？

A：詳細は一般活動報告書に記載のとおり。だいすきクラブ、シー・ハイル、TABS、富山三ツ星山の会である。

実行委員(報告)：記念Tシャツについて。売れ残りがあったため、決算に間に合わなかった。

1枚960円を1500円で販売、×112枚。

A：2016年度の入金として決算する

《監査報告》 * 第一号、第二号議案は一括審議されのち、監査報告がされた。

会計について

・適正に処理されていた。

これからについて

・スキー以外のイベントの充実。ミニシティーとの交流など、子どもたちに伝える。未来のパートナーを育てたい。

・会費未納者へ、より一層の対応を図る。正確な会員数の把握。サポーター体制の提案。

・役員の役割分担。特にブラインドの協力。

3、 第三号議案：役員の改選

会長:T.K.、 副会長:Y.K.・K.N.、 事務局:S.M.、 会計:F.A.、 企画:O.M.・N.T.、 広報:K.N.(兼務)
監事:N.Y.

《質疑応答》

第三号議案について

議長：役員人数が減る懸念について補足。会則6条より、この人数で成立。

Q：女性が一人も入っていないが問題はない？

A：是非入って欲しい。

参加者：女性が居なくてはならない理由はないのでは。

参加者：圧倒的に女性会員が少なく致し方ない。世代交代期とも重ね、バックアップが必要。

A：出来る事でどんどん参加して欲しい。特に企画部分に協力が必要。

A：協力調査表を参照、活用していく。

4、 第四号議案：2016年度活動計画 予算案

《2016年度活動方針》

当クラブは昨年創立30周年を迎え、記念事業として、記念スキーツアー、サロン、きずな30の各委員会により活動し、大きなトラブルもなくほぼ終了し、新たな一步を踏み出す年となりました。本年度はまず、より一層の安全で楽しいスキーツアーの為に、晴眼者の確保とパートナー研修、ブラインドの心構えなどについて取り組みます。つぎに、研修会・イベント関連では楽しく学べて晴眼者とブラインドが親睦を図り、お互いの理解を深められるようつとめます。最後にクラブ運営においては、活動の合理化・省力化・会員の全員参加などを念頭に、財務・世代交代・役員・実行委員などの役割分担などについて改善をすすめます。これらの目標は会員の皆様の同意と参加が不可欠と思われまますので、今後ともよろしく願いいたします。

1. 2016年度総会の開催

日 程；5月15日(日) 14:00～16:30

会 場 神奈川県ライトセンター

《終了後は二俣川『団欒 炎』で懇親会》 *参加者は23名でした。

2. 夏のイベント *詳細はイベント案内を参照

日 程；7月31日（日） 14：00～16：30（予定）

会 場；ライトセンター

内 容；ブラインドをもっと知ろう！交流会

スキーを安全に楽しむためにイベントを開催しブラインドへの理解を高める。

3. 秋のイベント *詳細はイベント案内を参照

日 程；10月2日（日） 10：00～15：00（予定）

会 場；自然と歴史散策（予定）

内 容；子どもの企画と解説で、都筑区の歴史と新しい街を見学

4. 新会員募集

今年度は新会員募集時期を前倒しし、ツアー参加者募集前に説明会を開催できるように設定する。

また、パートナー獲得のための新しいパンフレット作成を試行する

5. 研修会と懇親会

6. 2016年度定例スキーツアー

①岩原高原ツアー 1月27日（金）～29日（日）

②尾瀬岩鞍ツアー 2月18日（土）～20日（月）

7. クラブホームページ「声のきずな」の運営

8. 「クラブニュース」の発行

《2016年度 予算案》

	費目	予算	前年実績	差異(△:減)	備考
収入	前年度繰越金	¥511,764	¥45,398	△ 466,366	
	年会費	¥150,000	¥154,000	△ 4,000	75名分
	雑収入	¥0	¥66,971	△ 66,971	
	小計	¥661,764	¥266,369	△ 537,337	
支出	通信費	¥10,000	¥7,260	2,740	葉書、切手代
	事務費	¥9,000	¥6,949	2,051	封筒、点字印刷費等
	役員交通費	¥85,000	¥75,500	9,500	
	実行委員交通費	¥30,000	¥24,000	6,000	
	企画係等交通費	¥30,000	¥0	30,000	
	広報費	¥10,000	¥10,000	0	HP費用
	その他	¥5,000	¥4,080	920	県民センターレンタル料等
	小計	¥179,000	¥127,789	△ 51,211	
予備費	¥482,764	¥226,000	△ 256,764		
	総計	¥661,764			

《質疑応答》

第四号議案について

Q：消費税引き上げの可能性について考慮しているのか？

A：していない。あくまでも、前年度実績より出した予算案。

Q：新しいパンフレット作成とあるが、予算案に入っていないのは？

A：役員会で合意は出ている。

A：あくまでも予算案であり、活動していく中で載せていく。

Q：県民センターを借りる必要があるのか？

実行委員会では、県民センター12階で無料で行っている。人数も減るし、そこで出来るのでは？

A：ライトセンターが閉館時に利用した。発送作業も同時に行う為時間が足りない。交通費等を対比考慮し、実践していく。

《審議/決定事項》

採決の結果、第一号議案から第四号議案まで承認された。

《参考》2016年度のスキーツアーは以下の日程となっています。

岩原ツアー： 1月27日（金）～29日（日） 岩鞍ツアー： 2月18日（土）～20日（月）

Ⅱ ブラインドスキーサミット2015」を外部発表！

副会長 Y.K.

さる6月17日（金）～19日（日）にグランシップ静岡で開催された第25回視覚障害リハビリテーション研究発表大会において、当クラブの設立30周年記念事業として実施した「ブラインドスキーサミット2015」の様子を発表しました。「ヨーロッパではスマホのバイブレーターを使ってブラインドに危険箇所を知らせる試みが発表されているが、国内でそのような取り組みはあるか？」など興味深い質問を受けました。発表で使用したポスターは、今後クラブのHPなどで公開しますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。

Ⅲ 第1回役員会を開催！

副会長 Y.K.

今年度1回目の役員会を6月5日（日）夜、神奈川県民活動サポートセンターで開催しました。新旧役員の引き継ぎ状況の確認、夏・秋のイベント内容、今年度の役員会の活動予定などを話し合いました（他にもたくさんですよ）。7月31日（日）の夏のイベントの詳細についてはお知らせをご参照ください。秋のイベントは、10月2日（日）に、冬の研修会は12月第1週もしくは第2週に開催することにしました。今後具体的な内容を詰めていく予定です。

Ⅳ 夏のイベント ブラインドの事をもっと知ろう 体験と交流

日時：平成28年7月31日（日） 13:00～16:30 受付12:30～

場所：ライトセンター 2階第1講習室（A・B）

「え！！ カラオケの歌詞カードを点字で作って、読みながら歌うの。」ベテラン会員の知らなかった驚きです。視覚障害者は全盲の人から弱視の人まで日常の行動に様々な違いがあります。ブラインドについて、知っているようで知らない。聞いてみたいけど、ちょっと気兼ねをして聞きづらい。パソコンやスマートフォンの普及で情報収集の方法も変化をしており、クラブニュースも点字ニュースの発行が減っています。

今回のイベントは、ブラインドについての説明と、昨年の研修会では発表されたブラインド会員の特技披露や、連なった鶴の折り紙、バルーンアート作成、施設内を白杖歩行体験、盲人卓球（STT）体験、フロアーバレーボールの試合観戦と体験なども計画をしています。

今後のスキーツアーをもっと安全に楽しむために、皆さん少しだけ初心に戻って、ブラインドについて話を聞いて、体験をしてみませんか。

さらに、昨年のズーラシアに続き、秋のイベントと一緒に企画する、NPO法人ミニシティ・プラスの子ども達にも参加を呼びかけ、交流をしながらブラインドのことを知ってもらい、10月のイベントに繋げていきます。気兼ねなく、気楽に質問を交わしながら交流ができればと思っています。家族や友達で興味のある方など、多くの方の参加お待ちしております。

※体育館等を使用するため、室内用の上履きを持参してください。

17時30分頃から二俣駅周辺で、懇親会を開催します。こちらもぜひご参加よろしく申し上げます。

【イベント・懇親会の出欠について（はがき・メール）】

- ① イベント・懇親会の両方出席
- ② イベントのみ出席
- ③ 懇親会のみ出席
- ④ イベント・懇親会ともに欠席

いずれかを選び返信してください。申込締切は7月17日（日）です。

【同封はがきの記入方法について】

今回のクラブニュース2016年度7月号は回答用返信はがきを1枚同封しています。

このはがきには「夏のイベント ブラインドの事をもっと知ろう 体験と交流」のお知らせと、「クラブ活動協力依頼」の二つについて回答をお願いしております。

はがきの切り落としした角を左下にした場合の上3分の2に「交流イベント」の出欠に関する回答を1から4番の番号での回答で、1と2を回答した場合は参加人数を数字で回答してください。

そして、下側3分の1に「クラブ活動協力依頼」に関する1から12までの項目番号を数字でご記入いただきたいと思えます。

はがき回答が困難な場合はお手数ですが、事務局の白崎までお電話（080-3027-5110）ご連絡ください。

なお、視覚障害会員宛の回答はがき表面（宛名面）下側には回答者の氏名、住所シールを貼ってありますので、裏面（回答文面）への氏名記入は省略して構いません。

事務局からのお知らせ

クラブニュースは現在、4つの方法でお送りしています。

- ① 点字版；
20から30ページ程度の点字と同じ内容の墨字で、募集がある場合は返信ハガキを同封しています。
- ② 墨字版；
A3の用紙を二つに折り、サイズの4から8ページ両面印刷で、募集がある場合は返信ハガキを同封します。
- ③ PCメール版；
メール送付の案内とメールの文章に差し込んだ本文とワードで作成した添付ファイルで送信し、募集に対する返事は別に返信用のメールを送ることを基本としています。
- ④ 携帯メール版；
メール送付の案内とメールの文章に差し込んだ本文を送ります。ファイルを添付することはいたしません。募集に対する返事は別に返信用のメールを送ります。

ただし、送信はパソコンを使用して送信していますので、迷惑メール防止のためにパソコンからのメールを受けない設定をした場合は、クラブ事務局からのメールについて受信の拒否解除が必要になります。

※メール版は他の送信者にアドレスが表示されない「BCC」を使って送っています。

そこで、このニュースが確実に皆さんの手元に届くように希望者には当面複数のメディアを希望される方にも要望に応じていますので必要な方は今回の返信ハガキかメールでご連絡ください。



【編集後記】

クラブの活動は会員の皆さんの協力に支えられています。クラブニュースの編集・発行も例外ではありません。

協力者（サポーター）の申し出をお待ちしています。

広報担当：K.N. 7月号編集協力者：K.Y.